

DIRECTFORCE の情報紙

DF NOW

2011年3月発行 NO.15

詳しくはDFホームページ <http://www.directforce.org> をご覧ください



池田武司氏(美術同好会)の作品「牡蠣を楽しむ」

第19回 デイレクトフォース会員総会

会員の事業活動への参加と 財務体質の健全化に確かな手応え

一般社団法人ディレクトフォースの第19回会員総会が、2月15日(金)午後2時30分より開催された。松村代表理事から、会運営の厳しさは続いているが、会員にはなんらかの形で事業活動に参加していただけたようになり、財務体質の健全化にも見通しが付いてきたとの報告があった。同時に、各事業部、部会の責任者から、活動の現状と今後の展開について説明がなされた。

I DFの最近の姿

松村代表理事

1. 会員の活動

■ 実働会員数 (図1)

2月現在の会員は570人で、昨年8月の総会時に比べると15人の減少。年の後半は退会者が多くなるが、前半には新しく入会する方が増える傾向にあるので、今年の見通しとしては600人台に乗るのではないかと。退会をできるだけ抑えるため、入会希望者には入会後、早い機会にDFの活動に参加するように強くお願いしている。

直近の2年間で入会したのは172人で退会が12人、その比率は約7%。これまで30%ぐらいだったのが、それに比べてこの比率が低いと言えるかどうか。

■ 直近入会会員の活動状況 (図2)

そこで昨年8月までの1年間に入会した86人の方どのような活動に参加しているか検証してみた。重複を除いてDFのなんらかの活動に参加した方が78人で、何も参加しなかった方は8人、全体の9%である。新しい方も積極的に会の活動をされているようであり、特にアカデミー、ベンチャーなどDFMの事業活動に参加している方の数字が大きいことは注目される。

2. 財務状況 (図4)

図4にみるとおり売上は減少傾向が続いている。

今期当初予算では、税引き後利益5百万円の赤字を予定していたが、9月から1月までの実績と今後の見通しを合せて検討した結果、売上は1億円、



松村代表理事が手応えを話している

3. 課題

■ 宿題

前回総会で述べたことをどの程度実行しているかであるが、入会希望者への事前説明はすでに述べたとおり、念頭においてパンフレットやホームページの改訂は行なっている。

ボランテア活動については、技術部会の小中学生を対象とした理科実験に少額ではあるが材料費支援を始めた。

事務局運営の効率化は、事務局員の給料の再三カットを行なってきたし加えて副代表も終了。業務部の廃止を行ない、女性職員の2人体制を1人体制に改めた。やるべきことはすべて実施したことになる。

活動の場を広げることは当然、永

II 事業部報告

1. アカデミー事業部 石原事業部長

事業としては大学・大学院での講義、企業研修、ロータリー・ライオンズクラブでの卓話などが3本柱。

今期の見通しは、全体で398コマ(前年353)で13%の増加。内訳として大学・大学院での講義が大幅に増加している。講師はDF会員が90名前年87名、そのうち21名は今年度新しく講師を務めていただいた方である。

トピックスとして海外とのつながり

①日本財団 日本トルコ中央アジア友好協会(講演) 中央アジアからトルコに留学している学生のための講演に講師を派遣。9回の実績。

②日本財団 海外留学生向け研修 中南米、アジアから日本に留学している学生のため、講義と工場見学を行なう。4月から新規に支援活動を開始。

活動の場を拡大に結びついていく。事務局員のローテーションについて、ディレクトフォースがスタートして以来22人の人が事務局員として活動してこられたが、現在12人の方が既に交代している。昨年1年間で3人が担当を交代し、今年中に内規に定める任期3年に収まるよう準備を進めている。代表理事と事務局員については理事会メンバーとなる。

ただ、事務局員のローテーションは、あくまでも業務に支障が出ないことが前提なので慎重に取り扱っていきたい。

③ポルトランド大学経営大学院の東京研修 毎年3月に東京で工場見学等の研修を実施。企画運営をDFが請け負っている。6月目に入っており、3月初めに実施する。

④韓国企業の日本法人での研修講演 講師をDFから派遣するよう求められるつながりが出来た。

■ 探しています 神奈川大学工学部が2013年から「工業中国語」の講座を開講する予定で、講師をDFに依頼。中国駐在の経験があり、関心のある方は申し出てください。

2. コンサル事業部 三宅事業部長

■ 現状と対応 コンサル事業収入は成功報酬と顧問料とで成り立っているが、中間期の2月末では予算を達成した。

8月までの見通しとして、成功報酬については集中活動を行なうことによりなんとか達成できるかなという段階で、月額顧問料については目標を達成できる見込み。

■ 事業内容とお願い

①再就職支援会社 退職社員に再就職支援が必要な企業を紹介いただきたい。人員整理を計画している企業のみでなく、定年延長後の退職に際して再就職支援する企業も多いので原則あらゆる企業を紹介いただきたい。

②投資ファンド会社 投資案件、ある

いは投資ファンド会社から依頼があった企業を、あるいは業界見聞者を紹介いただきたい。

③不動産投資ファンド会社 不動産物件、特に売り物件を持っている、あるいは不動産所有企業を紹介いただきたい。オフィスビルのテナント紹介もお願いしたい。

④福利厚生請負会社 新しいサービスも開始しており、先方が要望する個別企業の人事総務部門をご紹介いただきたい。

⑤故郷企業支援会社 個々の故郷企業に先方要望の顧客企業をご紹介いただきたい。

⑥都銀/地銀融資先企業の再建 中小企業からの経営支援、工場支援などの要請にご協力願いたい。

これらのほかに新しい契約先を探していくことが大事なので、新規契約先のご紹介をお願いしたい。

3. サーチ事業部 坪井事業部長

■ 最近1年間の再就職の状況 求人企業数51社、採用された方が20名の実績。最近の求人傾向については、

は、昨年の秋ごろまでは求人があってもすぐに取り下げが相次いだり、今年に入って環境が大分変わり明るい展望が開けつつある。一つには、上場企業は独立役員の人材が義務づけられている関係で、常勤監査役、非常勤監査役、社外取締役の案件等がきている。現在RCCや地方銀行とコンタクトを取っているが、地銀の企業再生案件が増える傾向にある。

■ 求人状況 現在来ている案件はいずれも大手市場企業で、2件は監査役、1件は社外取締役、あとRCC、地方銀行関係の企業再生案件、そしてレジヤ産業顧問の案件がある。ただ最近では求人企業が求める年齢が61から62歳ぐらいまでと年齢制限が厳しくなっている。

4. ベンチャー支援事業部 熊谷事業部長 近藤重

■ ビジネスの状況 昨今の今頃は19社支援していたが、現在21社を支援。ただし、9社が入れ替わっている。

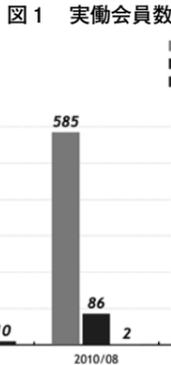


図1 実働会員数

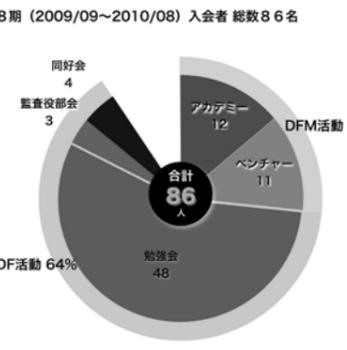


図2 直近入会会員の活動状況

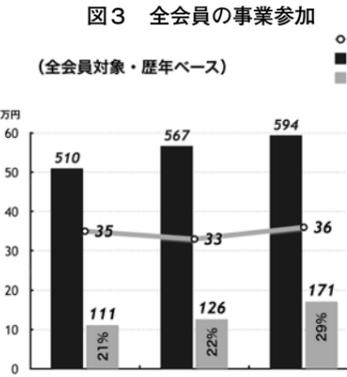


図3 全会員の事業参加

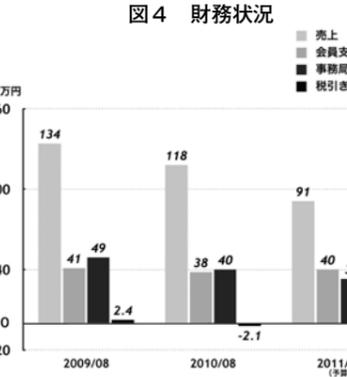


図4 財務状況

支援チーム登録会員数は73名、1社当たり4〜5名のメンバーで支援している。支援会社全体をみての傾向は、モノからサービスへと変化、ITネット企業が增加、総務人事のサービスが増えていることがあげられる。誹謗中傷対策、託児所ビジネスなど時流に



III 各部会報告

1. 監査役部会 山本世話人

活動状況 運営体制は、部長を坪井氏にお願いし、6名の世話人が加わって運営に当たっている。登録メンバーは外部企業の参加を含め約160名。活動内容は研修会と小研究会で、研修会はテーマとして監査のみならず経営全般をカバーした内容になっている。講師は外部専門家をお願いしている。本年度はまだ研修会カリキュラムが残っているので、監査役といわずに関心のある方はぜひご参加願いたい。



2. 技術部会 森山世話人

活動状況 部会としては相互啓発、社会貢献、事業開発を目的として、定例会議、分科会の構成で活動している。技術系54名



合った会社も入ってきている。実績と予算 今期の収入見込みは、予算1559万円に対して、現在順調に推移しており2000万円に達する見通し。お願い 本ベンチャー支援活動に参加することとベンチャー企業を紹介いただくことに協力をお願いしたい。

文系5名の約60人の構成。定例会議 2010年は隔月で6回開催の実績。うち2回はキュービー、日立の工場見学を行った。定例会議の内容は、分科会報告、提案審議、会員講話、外部講演の4つ。定例会議の参加者は平均35名の実績。分科会 5つのテーマで活動中。「私の経験談」は大学講義テーマ発掘が目的で、2010年には早稲田大学大学院で講義を行なった。「理科実験」は小中学生の理科離れを防ごうと延べ2000名を対象に実験を実施。4つのテーマを新たに開発。活動を広げていく。「出前授業」も同じような目的だが、経団連が行っていた小中学校二歳と企業提供授業の調整ということを引き継いで、横浜で実績を挙げている。「日本産産は何を目指せば生き残れるか」という討議会は、2010年6月からスタートし、多分野の方の講演も含めて活動を深めている。

3. ベンチャー支援部会 四方世話人

ベンチャー支援部会 四方世話人

「検定問題作成支援」のテーマは始まったばかりで、リスクマネジメントをより実効的に行なおうということを進めていくことになる。

メーカー、商社、プラント関係の方6名で構成しており、ベンチャー支援事業部の人々と一緒に年間14件程度の審査を行なう。その中から支援する企業を決定して、支援を開始する仕組みになっている。現在支援に関わっている会員は73名だが、今年中には100名程度までにもなっていきたい。



4. 環境部会 木村連絡部会

環境部会 木村連絡部会 環境問題では世界で毎年北海道の広さに匹敵する森林が失われるなど深刻な問題が発生している。「かけがえのない地球を次世代へ」地球規模で考え足元から行動しよう」を共通の理解として、持続可能な社会の構築はどのような方法で行なうかを考えながら地球環境の基本的な問題を学習し、環境に関する啓発活動、保全活動を行なうことと社会貢献しようというのが主旨である。



● 詳しい内容はホームページをご覧ください ●

9月勉強会 「民主党代表選とその帰結」



佐々木毅氏 元東京大学総長 学習院大学教授

11月勉強会 「再生医療」



柏木征三郎氏 NPO九州医療システム研究機構理事長 元九州大学大学院教授

1月勉強会 「人生全般に役立つ 筆跡心理学」



根元寛氏 日本筆跡心理学協会会長 一般社団法人日本筆跡鑑定人協会理事長

10月勉強会 「地域主権の近未来図」



増田寛也氏 野村総合研究所顧問 元岩手県知事、元総務大臣

12月勉強会 「日本人の美風と日本力」



呉善花(オ・ソンファ)氏 評論家 拓殖大学国際学部教授

2月勉強会 「激流の中で 日本の進路を築く」



福井俊彦氏 キヤノングローバル戦略研究所 理事長、元日本銀行総裁

活動組織

環境部会員は39名で、5つの分科会がある。それぞれの分科会が種々の企画をし、DF会員の参加を得た活動をしており、全体としては連絡会がまとめる行なう。事務局と連携をとりながら運営している。

活動実績

学習分科会は環境の基本的な問題の学習を目的とした講座を昨年は4回開催。環境時事分科会はその時々のトピックスを取り上げ、昨年は「スマーテッドグリッド革命」その他セミナーを4回行なっている。教育支援分科会は、「ものづくり大学院技術特別講座」の年間のシリーズ32講座、他の大学で半年のシリーズ15講座の講師をDF会員が務めた。自然環境保全分科会は森林に出か

同好会ガイド (延べ会員数合計537名) 入会を希望される方はホームページをご覧ください、事務局または世話役に直接ご連絡願います。

同好会名	世話役	会員数	活動内容
囲碁	川添進一郎	22	毎月第4水曜日に開催。棋力は3、4級から5、6段まで。対戦方法は、自由対戦方式と名人・活人チームの2リーグ制のリーグ対戦方式。持ち点制を採用。年1回松村杯をかけたDF大会を開催。
スキー	折茂 伸平	13	会員年齢76〜64歳。定例会はシーズン中、3〜4回。これまでの実績は、北海道、東北、上信越で16箇所、フランスに1回。アフタースキーは温泉と酒が楽しい。ボーゲンが出来れば入会可。
登山	戸田 邦男	14	活動は登山、ウォーキング、談話会。昨年の実績は登山11回(日帰り6回、1泊4回、縦走1回)・参加者は77名、花見ウォーキング1回、談話会1回。有志提案の山行きを随時開催。
ワイン	石井 勝巳	39	例会は年間4〜6回開催。これまでの開催実績は28回。例会開催企画は代表幹事と幹事会が行なう。会場は都内のレストランを順次使用。年1回国内ワイナリーを訪問。例会費用は1万円程度。
ゴルフ	小林 止	72	3、6、9、12月に開催。参加状況は6組前後(20〜24名)。開催ゴルフ場は偏らないよう工夫。1回の参加費用はプレー費と参加会費を含め2万円未満が目標。年2回DF懇親ゴルフ大会に協賛。
テニス	金井 英夫	23	活動状況は、年2回の春秋定例プレー会(8〜12名参加)および平日の中央線プレー会年2回開催。会員の技量は初級の上から中級の上。お気軽な参加歓迎。
スキューバー	杉山 孝義	7	年3回程度ダイビングツアー実施。昨年フィリピン・セブ島と沖縄西表。今年2月パラオ、5月はタヒチを予定。現地料理と酒、観光も楽しむ。例会はツアー前後に酒とカラオケで懇親を深める。
釣り	安田 隆一	12	厳寒期を除き毎月1回程度釣りに開催。旬の魚を船釣りで狙う。金沢八景、久里浜の船宿利用多く電車でも可能。年に1〜2回は1泊での釣行も実施(千葉館山や大分など)。初心者大歓迎。
カラオケ	原 石根	39	例会は月1回開催。会場は会員馴染みの店を持ち回り。年末には1泊研修旅行。会員の歌唱力はピンからキリまで。キリの方の入会大歓迎。例会終了時に「山河」を全員で大合唱。
コーラス	井上 高明	15	例会は月2回。練習曲目は童謡、叙情歌、民謡、Popsなど。年2回演奏会。気楽な雰囲気の中で仲間と楽しく歌う。腹式呼吸による自然な発声法を体得、脳の活性化を図る。
麻雀	三木 延義	40	毎月例会を開催し優勝を争う。年間成績で年度優勝者も決定。他にフリー参加のオープン戦も毎月開催。年2回(6月、12月)DFの大会を開催。9月は函館に麻雀&ゴルフのツアーに出かける。
美術	安永 敬明	25	会の目的は絵画の制作鑑賞、作品展開催、会員の懇親。活動は2月に総会、年1回スケッチ旅行、鑑賞会、1日スケッチ、秋季作品展開催。第3回作品展実績は出品数43点、来場者数654名。
蕎麦打ち	市古 紘一	26	毎月1回例会開催。奇数月には蕎麦道場において蕎麦打ち研修、年2回はプロによる直接指導、偶数月に蕎麦名店巡り蕎麦談義、そして年2回千代田区高齢者センターでのボランティア活動。
海外旅行	今井 智之	18	隔月に例会開催。各自の旅行経験報告、情報交換をする。これまで33回を数え、発表は55回、30カ国以上。会員のプレゼンスキルと写真撮影技術向上に役立つ。今後Webサイトづくりに挑戦。
写真	曾山 高光	11	奇数月に定例会を開催。会員は作品5点を提出、外部講師の講評を受ける。1泊撮影旅行年1回、日帰り撮影会1回を開催。作品は各1点オンラインアルバムに掲載。半数をDF事務所に展示。
映画	真木 郁夫	36	例会は隔月に開催(映画情報の交換、会員の発表、映画の論評など)。講演会、名画鑑賞会を月に1回、江戸東京博物館において実施。
落語	家富 恒志	38	笑いの楽しさに接することを目的に年5〜6回開催。独演会を中心とした古典落語を楽しむ会のほか桂右団治と愛子亭朝大(家富)の競演会や落語の故郷を訪ねる会を年1〜2回開催。
トリアスロン	宮原 保彦	5	小金井トリアスロン連合有志と合同で月1回練習会開催。インドア、オーシャンスイム、ランニング中心。今年にはホノルル、館山、式根島、立川昭記念公園大会にソロまたはリレーで参加予定
歌舞伎	坪井 莊一郎	61	例会は年5回開催。国立劇場をメインに歌舞伎鑑賞会を解説付きで実施。毎回60名前後参加。うち御夫婦同伴参加が半数。DF歌舞伎同好会はWeb上で注目を集める。
俳句	小瀧 徹	13	毎月第1木曜日飯田橋の蕎麦屋2階で一杯やりながら句会開催。他に四季ごとの吟行も実施、これまで湯島、井の頭公園・玉川上水、押上・浅草へ。誰もが持っている俳句心を楽しみませんか。
将棋	和角 清	8	昨年5月発足。会費無料。月1回定例会開催。年1回合宿。これまでの開催実績9回。モットーは勝負にこだわらない、気楽な雰囲気でお互いにコミュニケーションを深めること。

新入会員紹介

入会者についての詳細はホームページを参照してください。

- 金子 博昌 千代田火災海上
- 木原 潤 住友商事
- 橋本 せつ子 ヘキストジャパン
- 佐藤 孝義 日本電信電話公社
- 森 泰造 富士フィルム
- 佐藤 修 富士フィルム
- 白子 俊比古 川崎製鉄
- 馬場 一徳 住友商事
- 桃井 直達 千代田火災海上
- 宮越 正夫 住友建設
- 岡村 正郎 松下電工
- 中村 晴一 大林組
- 吉本 誠一郎 三菱化成
- 佐々木 隆造 京都大学大学院教授
- 飯野 良吉 三菱商事
- 牟田 忠弘 日本無線
- 高野 真人 帝人
- 早乙女 立雄 日本電信電話公社
- 小宮山 直子 (株)KPMG FAS
- 梅原 克彦 通商産業省
- 矢分崎 隆二郎 三菱信託銀行
- 清水 祐三 三菱油化